

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 水島エコワークス株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒712-8074 倉敷市水島川崎通1丁目14番5
----	-----------------------------	----	---

本票作成	部署名：技術部
------	---------

主たる業種	分類コード	88	業種名：廃棄物処理業
-------	-------	----	------------

事業の概要	倉敷市の一般廃棄物、水島コンビナート地区や岡山県内を主とした産業廃棄物を、ガス化溶解処理し、副生された精製合成ガスは、近隣の企業に販売している。
-------	--

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	水島エコワークス株式会社	倉敷市水島川崎通1丁目14番5

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	---

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 26 )年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	29,676 t CO <sub>2</sub>	33,714 t CO <sub>2</sub>	29,676 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 26 )年度排出量
	①	水島エコワークス株式会社	33,714 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 ( 5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 26 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 11.1 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 温室効果ガス排出量 (tCO <sub>2</sub> )/ごみ処理量 (千t)	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 26 )年度	目標年度
		212.3 t CO <sub>2</sub> /(千 t )	235.8 t CO <sub>2</sub> /(千 t )	201.7 t CO <sub>2</sub> /(千 t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

H26年度は、基準年度比で△11.1%となった。主な理由は、以下のとおり。  
 ①焼却炉の耐火物の更新  
 ②LNGバーナーの適正流量制御と個別コントロールにより、LNG使用量を減少させたものの  
 ③電力のCO<sub>2</sub>排出係数が、0.000628⇒0.000719と増加したことによる。  
 今後もさらに、精製合成ガスの回収率のアップ、LNGや電力の使用量の低減など省エネ活動を継続する。

**【推進体制】**

- ・省エネルギー法に基づくエネルギー管理規程
- ・環境マネジメントシステム（ISO-14001）
- ・その他会議体

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島エコワークス株式会社	(26年度実施分) ・焼却炉の耐火物の更新 ・LNGバーナーの適正流量制御 ・補機類の運用改善による電力使用量の削減  (今後実施予定分) 今後もさらに、精製合成ガスの回収率のアップ、LNGや電力の使用量の低減など省エネ活動を継続する。

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

当社設備では、以下特徴を有する。  
・廃棄物焼却炉で発生したガスは、クリーンアップし精製合成ガスとして、定状時には全量を近隣企業に販売している。  
・すなわち燃焼に伴うガスを全量有効活用する環境に配慮した設備になっており、他の焼却炉のように焼却後の温室効果ガスを煙突から排出していない。